

H21年度 第3回山梨県臨床工学技士会理事会議事録

H21年8月20日(木) 16:00~18:00 原口内科・腎クリニック

出席 大久保(塩川病院)、藤巻(市立甲府病院)、石井(甲府城南病院)、高橋(原口内科クリニック)、成田(東甲府医院)、横森(東甲府医院)、長田(鈴木ネフロクリニック)、佐野(飯富病院)、長嶺(山梨大学病院)、細川(甲陽病院)、飯窪(甲府共立病院)、小林(身延山病院)
委任欠席 真田(県立中央病院)、岩間(国立甲府病院)

1. 新任理事について

新任理事として都留市立病院の筒井一雅氏が承認された。任期中は災害対策委員として任務してもらう事となった。

2. 第1回山梨呼吸セミナーの反省

- 1) 参加申し込み100名に対して80名と欠席者が目立った。弁当や資料準備の都合から、今後のセミナーは事前登録、事前振込してもらい、登録後不参加の人には資料のみ配布する事とする。また、参加証も最後に配布する様にする。
- 2) アンケートが後日配布だったので、次回からは前もって準備しておく。
- 3) 次回から山梨呼吸セミナー顧問を県立中央病院宮下先生に依頼し、内容や講演などのアドバイスを頂く事となった。
- 4) アンケート結果:議事録最後に添付。

3. 第二回山梨急性血液浄化研究会について

日時:2009年9月26日(土) 18:00~受付 18:30~開始

場所:山梨大学玉穂キャンパス 新臨床研修棟2階会議室

参加費:1000円

テーマ「PMX+CHDF」

施設発表:甲府共立病院、県立中央病院、各10分程度

講師:日本大学駿河台病院 臨床工学課 三木隆弘先生

司会、座長:大久保、長峰

すべての発表が終了したらディスカッションの時間をとる。今回、協賛メーカーの東レは講師代のみ負担で弁当は技士会で準備する。

当日理事は17:30に集合。

4. 第4回CE懇話会について

日時:2009年11月14日(土) 18:00~

場所:ロイヤルガーデンホテル

参加費:1000円

「アフエレーシスの基礎」

講師:塩川病院 大久保淳先生

「アフエレーシスを上手にまわそう」

東京女子医科大学 臨床工学課 江口圭先生

終了後懇親会を予定。

今後、CE懇話会は血液浄化の基礎、血液浄化専門臨床工学技士習得に向けて必要な事項をテー

マに行う。

5. 年会費の引き落としについて

当初、7月中の引き落としを予定していたが遅れている。遅れている原因について、専用ソフトのテスト、互換性が悪かった事と会員の登録が遅れた事が事務局より説明された。現在登録会員数は77名で、未登録会員は本年度、振込みにて入金してもらう事とする。山梨中央銀行のテストが終わり次第、9月中に引き落とす予定である。

6. 会誌について

基礎原稿の「アフエレーシス」がクラレメディカルから旭化成メディカルへ変更になった。体外循環はテルモに依頼し、準備中である。細川編集委員より、今年度は各施設の業務内容等についてアンケートを行い掲載すると報告があった。アンケートはメーリングリストにより配布し集計する。また、合わせて、広告協賛の募集も行い、年度内の発刊を目指す。

7. 第2回甲信越ブロック協議会について

2009年7月4日(土)新潟県にて、大久保会長、藤巻副会長、高橋事務局長の3名がブロック連絡会議へ参加し報告が行われた。

1) 会則について

議長1名は各県で持ち回り、初年度は新潟県会長の後藤氏に決定した。学術集会は議長選出県で行い、平成22年度は新潟県で行う。山梨県の学術集会も合わせた形で行う予定。運営は各県の負担金、寄付金、補助金で行う。

2) 次回開催について

次回のブロック連絡協議会は12月5(土)、山梨県で行う予定。内容は学術集会に向けての話し合いとなる。

3) その他

各県ホームページの活用について、勉強会の情報など掲載、リンクし共有化を図る。また、各県で、学校(高校など)や関連団体へ臨床工学技士の職種や業務内容などをアピールし、臨床工学技士の人材確保、知名度や地位の向上を図る活動を行う。

8. Y-Board連絡協議会について

2009年6月20日(土)関東甲信越 Y-Boardハチドリネットワーク会議がおこなわれ、山梨代表として、飯窪理事、白石代表の2名が参加した。各県の活動について報告、連絡がおこなわれ、山梨では、臨床工学技士会と Y-Boardの連携は出来ている方で、今後はメールマガジンの登録活動、メーリングリストを使った、若手へのアンケート、意識調査などの活動を行っていく予定。次回連絡協議会は11月7日(土)に開催される。

9. 法人化に向けた定款について

事前に配布された、一般社団法人 山梨県臨床工学技士会定款、細則について協議をおこなった。

1) 11条に休会の項目を作成した。

2) 役員構成は理事10名以上15名以内(会長及び副会長を含む)とした。

3) 年会費は5000円とした。

4) 慶弔規程を作成した。

5) 次回までに、選挙規程について調べ記載する事とする。

6) その他、今後、定款を登記すると、変更する場合は経費がかかるので、もう一度、検討し、次回

までに意見を持ちよる。また、会計士についても調査しておく。

7) 完成次第、会員に経過と法人化へ向けた今後の予定を案内する予定。

10. その他

1) 体外循環勉強会(山梨体外循環セミナー)について

日時:2009年11月28日(土) 18:00~(予定)

場所:県立中央病院

内容:山梨県内体外循環実施5施設よりアンケートを取り、発表、ディスカッション形式で進行する予定。

2) 災害時伝達訓練の実施について

災害担当長田理事より、2009年9月1日(火)10:00~23:00、日本透析医学会災害情報ネットワーク伝達訓練参加の依頼があった。また、ファックス等でお知らせもあるが、技士会ホームページ、メーリングリストからも参加の呼びかけを行う事となった。

添付資料

第1回山梨呼吸療法セミナーについてのアンケート

1) セミナー開催時期や時間、参加費、内容はどうでしたか?

4 良いと思います。

肺の解剖・人工呼吸器についてなど良かったと思います。

1 ちょうど良い。

1 時期などは良いと思うが、休日の為出来ればPM2:00頃には終了する様なスケジュールにしてほしい。

1 妥当だと思います。内容は、Dr、Ns、ME、PTなど専門の各領域からの発表でとても参考になり、興味深いものだった。職業観なども聞けて大変感銘を受けました。すぐに実践できることもあり大変感動し、眼からウロコの状況です。体位変換など。

1 講師が大勢で、講義の時間も短く凝縮された感じだった。短時間ずつだったので集中できたが、じっくり考え理解する余裕がとれなかった。

看護の講義では、もう少し具体的であったり新しい話を聞きたかった。

2) 年1回の開催予定ですが、開催間隔はどうですか?

3 良いと思います。

2 良い。

1 年1回は長い様な気がします。半年に1回が良いと思います。

1 年2回など聞きに行きたいと思いますが、発表される側の準備もあるので良いと思います。

1 1～2日に分けてじっくりやるのも良いと思う。

3) 次回に行ってほしい講義内容がありますか？

1 メンテナンス・点検など

1 非侵襲的人工呼吸の適応と使い方

1 挿管下的人工呼吸のモードと選択

1 モードの選択法など

1 人工呼吸器についてもっと詳しく

1 心電図（症状と波形の関係）

1 呼吸器については、機械の種類や使い方など知りたいと思います。

1 所見別の設定方法、治療方法など

1 やはり、機器に対する理解が苦手なので繰り返し聞いていきたいと思う。今の自分のレベルでは「基礎」が重要なので基礎を繰り返してやりたいので、他の内容など思いつかない状況です。

4) その他臨床工学技士会への要望などご記入下さい。（何でも可）

1 資料は、スライドのみだけでなくメモのスペースがあった方が良い。

1 呼吸器のセミナーを楽しみにしています。ありがとうございました。

1 機械を扱うことも解剖学的裏付け・エビデンスを考えて対応することなど、とても苦手です。必要と解っていても難しくて教えてもらうことも日頃なかなか出来ないの
で、こういう機会があれば極力参加したいと思います。日頃のトレーニングの必要性も良く解るんですが出来ていないことばかりで、自己嫌悪に陥ります。“これだけは絶対に！”ということだけは身につけたいと思います。

以上

次回 H21年度 第4回山梨県臨床工学技士会理事会 H21年10月15日(木)PM4:00～

場所 原口内科クリニック内